

DX戦略講座

第2回

資源循環システムズ
取締役

瀧屋 直樹

「コープレートガバナンス(企業統治)」とは「株主をはじめ顧客や従業員、地域社会などの立場を踏まえたうえで、透明公正かつ迅速果断な意思決定を下すための仕組み」であり、企業の持続的成長と中長期的な企業価値の向上を目的として取り組まれているが、一般的には企業の不正行為防止と収益力強化の2点が連想される。

従来の「ITガバナンス」は、コープレートガバナンスを確立するためバランスを確保するためITの力を活用する。また情報システムの安定稼働のためのリスク管理が中心だった。しかし、このような経営者自身が、

単なるIT活用ではなく、企業変革を目指すDXにおいては、ガバナンスの下で組織・仕組み・システムも従来のITガバナンスを確立し、常に踏まえたうえで、透明に捉え、新たな価値創造へ向けてストーリーを描くことで、経営戦略と一緒に実現することが求められる。DXはデジタルガバナンスの成否がDXに取り組める企業へと変革できることで、

明確な経営理念・ビジョンや基本方針を示し、その成否がDXに取り組める企業へと変革できることで、

自らがビジョン・戦略を語ることが強く求められる。経営者はITシステムとビジネスを二つ同時に捉え、新たな価値創造に向けたストーリーを描くことで、経営戦略と一緒に実現することが求められる。DXはデジタルガバナンス・マネジメントを実現するべきである。次にビジョン・戦略を実行し、必要な変革を行なうため、IT部門、事業部門、経営部、人事部、法務部など各部門が連携して、DXはデータやデジタル技術を活用した経営改革・業務改革を推進め、競争優位性を確立するた

「ITガバナンス」から「デジタルガバナンス」へ

「ガバナンス」について

ITガバナンス

「リスク」ガバナンス

情報システムの安定稼働のためのリスク管理が中心

- セキュリティ
- コンプライアンス
- 内部統制

デジタルガバナンス

「価値創出」ガバナンス

ビジネスモデル変革による企業価値向上を実現していくためのガバナンス

- ビジョン・戦略
- 組織・人材
- テクノロジー
- 投資
- 評価・改善